



館報 まつかわ

松川町公民館報
第666号
平成31年4月15日

町の川 ⑩
片桐松川 (桜のライトアップ)

大島保育園 ゆい組

- 国語でひらがなを教えてもらうのが楽しみ。
- 学校に歩いて友だちと一緒に行くのが楽しみ。
- 友だちをいっぱいつくって校庭で遊びたい!
- サッカーをしたい。



なったら いちねんせいになつたら

友だち100人
できるかな

名子中央保育園 ゆい組

- 学校へ行ったら算数の勉強を頑張りたい!
- 宿題をがんばりたい!
- 漢字がたくさん書けるようになりたい!
- 鉄棒をがんばりたい!
- テストで100点をとりたい!

双葉保育園 ゆい2組

- 本格的な勉強が楽しみでワクワクドキドキしている
- 勉強でハナマシといたい
- 保育園でやったことのない勉強があるから楽しみで頑張りたい
- 勉強頑張ってできるようになって楽しくなるといいな
- 楽しみだけと宿題間違えたらどうしようと少し不安



上片桐保育園 ゆい組

- ♣これから
- がんばりたいこと♣
- べんきょう
- ともだちとたくさんあそぶこと
- ころだんぶづくい
- けん玉 ・ プール
- やきゅう
- ママのおこつだい
- 考え中
- 大互さんになること
- 図かんをつくること



双葉保育園 * * * ゆい1組

- おそうじが楽しみ
- テストで 100 点といたい
- サッカーをやってゴールを染めたい
- いっぱいお友だちを作りたい
- いっぱい勉強頑張りたい
- 勉強難しそうでドキドキある



3月24日(日)に町民体育館
トレーニングルームにて太鼓
一芸楽人感謝祭が開催されま
した。

今回初開催となる感謝祭で
すが、開演20分前にはすでに
多くのお客様が来場されてい
る姿が見え、みなさんとても
楽しみに開演を待ちわびてい
るようでした。



て、会場内に流れる軽快な音
楽にノッている子どもたち
や、パンフレットを眺めなが
ら楽しそうにお話しされてい
る姿が見え、みなさんとても
楽しみに開演を待ちわびてい
るようでした。

午後2時30分に第一部の演
奏がスタートし、一曲目から
圧巻の演奏で、太鼓の一打一
打がお腹の底までズシンと響
いて鳥肌が止まりませんでし
た。太鼓だけでなく、小道具
を使った踊りや、笛などの演
奏もありとてもワクワクしな
がら聞いていました。

途中で楽人マスコットキャ
ラクターのひよつとこのシン
さん、狐のタクさんが登場
し、場をさらに盛り上げてい
ました。シンさん、タクさん
と握手をすると半年間健康で
いられるんだとか…。

そして第一部の演奏が終わ
り、15分間の休憩のあと第二
部がスタートしました。

なんと第二部にはあの助さ
ん格さんと、水戸黄門様が登
場したのです!! 茶番が面白
かったです(笑)

少年少女太鼓クラブの演奏
もあり、子どもたちの演奏か
ら元気をいただきました。

楽しかった演奏会もあつと
いう間に終わってしまいました
た…。お客さん達もみなさん
笑顔で帰られていました。話
している声に耳を傾けるとみ
なさんなかなか水戸黄門様が
印象強かったようです(笑)

楽人の演奏を是非聴いてみ

たい!!という方は、町内の
様々なイベントで登場してく
れますので、ぜひ生の楽人の
演奏を聴いてみて下さい!!

編集部員 増田 莉奈

ごあいさつ

2000年に活動を開始した「太鼓一芸楽人」も、山越
え谷越え川越えて、18年目を迎えました。

これもひとえに活動の場を与えて下さったみな皆様の
おかげです。その感謝の気持ちが変わらないうちに、演
奏会というには恥ずかしいので、「楽人感謝祭」と銘打っ
て、開催致しました。

太鼓、踊りをやりながら、なぜか人前に出るのが恥ず
かしいという矛盾した集団ですが、皆様に楽しんで頂け
るよう練習を重ね、今回最初にして最後!一回限りの披
露の場を設けた次第です。

当日はどこでだれがチケットをさばいてくれたのか、
本当にたくさんのお客様にお越しいただきました。

きつと!楽しんで頂けたことと自惚れながらも思っ
ております。

今後とも「太鼓一芸楽人」また、「少年少女太鼓クラブ」
への応援を何卒宜しくお願い致します。

川 又 光明



反響!?が多かった水戸黄門

松川町今昔
資料館だより
第34回
「江戸時代の村の姿」
(その二)

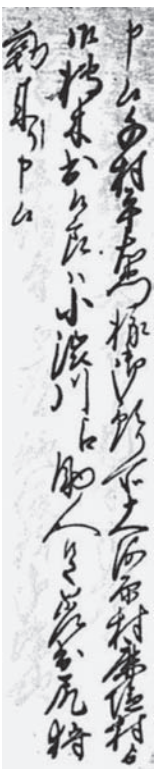
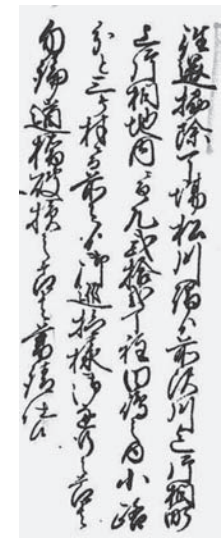
村明細帳はどこの村も同じようなことが書かれています。それは代官の方から書式が通達されていたからかもしれません。しかし村によっては、他の村にはないことを書いてある部分があります。その例を松川町の村の中から紹介します。

先ず一つ目は生田の福与村の村明細帳です。そこに「千村平右衛門様預り所大河原村鹿塩村より御樽木を出す時は、小渋川へ助け人足を出して、樽木が川を流されていくのを見届ける勤めをしてみました」と書かれています。江戸幕府は城や江戸の町の建設に、多くの材木を必要としました。そこで木曾や伊那の山の材木を利用しようと、山に近いところを幕府直轄の領地にしました。そして大河原

村や鹿塩村は、年貢を材木で納めるようになっていた時期がありました。葛島まで小渋川を下

し、天竜川を下して船で江戸まで運びました。その時材木がちやんと運ばれていくか、各村から人足を出させて見張らせたのでした。福与村もその時人足を出したと思います。樽木は毎年出すことはありませんでしたが、江戸時代半ばころには出せる材木が減ってきたので、お金で年貢を出すようになりました。普通に村や商人が売買するため材木を川下げするときは、人足はありませんでした。で、この人足として出るのは、減つていったようです。

二つ目は、片桐村の内上片桐の明細帳です。そこには「片桐宿を掘様(飯田藩)や旗本知久様・小笠原様・座光寺様が通行するときは、人馬を差出します」と書かれています。武家が参勤交代で片桐宿を通



行する時には、助けるために人馬を出していたことがわかります。これは助郷と言われています。

もう一つ書かれています。「伊那街道の掃除は、片桐松川から前沢川の間を、幕府の役人が見分の為に来る時にはやっています。道や橋が破損した時には修理もしています」これを三か村でやっているとされていますが、三か村とは、片桐町と片桐村の上片桐と田島だと思えます。

三つ目は、片桐町の明細帳です。そこにはいろいろな荷物が宿継で来たところは次の宿まで運んでいたが、中馬が盛んになり、宿継はなくなってきたしまったこと。宿は荷物を運んだりするので、年貢を一部免除されていたが、取り上げられてしまったこと。武家の通行の時はそれまで通りやっていたことが書かれています。

松川町資料館

伊坪 達郎

すぼっと

この館報まつかわが
全国公民館報コンクール
受賞しました!

この度全国公民館報コンクールで奨励賞という賞を頂きました。このコンクールは2年に一度の開催で、今回で3回連続の受賞となりました。とても喜ばしいことです。

今後も「地域づくり」のきつかけとして、コツコツ取り組んでいくことが大切であり、また、部員たちの地域を思う気持ちと松川町民全員の方も館報に活かすことができれば、これからも魅力ある館報につながると思います。

そういった館報を目指し、今後も賞を頂けるような素晴らしい館報を作っていきたいと思えます。

平成28〜30年度編集部長
米山 拓也



一緒に公民館報を作りませんか?

中央公民館では、本紙「公民館報まつかわ」を一緒に作ってくれる仲間を募集します!
年齢性別問いません!
会社員、自営業、主婦さまさまざまな町民の方が活躍しています。

知識・経験も不要、一緒に楽しく館報づくりしませんか?
お問い合わせ ☎36-2622

【お知らせ】

町民体育館耐震工事

平成31年度に町民体育館の耐震補強工事を行います。工事期間は約8〜9か月を予定しており、その間は体育館が使用できません。ご迷惑をお掛けしますが、宜しくご承知おきください。ご不明な点は中央公民館迄お問い合わせください。

スポーツ

第45回 松川町豊鎌弓道大会

3月3日に開催第45回松川町豊鎌弓道大会が開催されました。

結果は次の通り。

- 団体戦**
- 優勝 唐沢 徳 (豊丘村)
 - 伊藤 久人 (松川町)
 - 野牧 初彦 (松川町)
 - 準優勝 大藏 壽春 (松川町)
 - 菅沼 昭彦 (豊丘村)
 - 松澤 英男 (阿南町)
 - 第3位 田畑 隆夫 (飯田市)
 - 鈴木 清重 (駒ヶ根市)
 - 福島 文雄 (高森町)
- 個人戦**
- 優勝 松澤 英男 (阿南町)
 - 準優勝 中島 啓 (天龍村)
 - 第3位 野牧 初彦 (松川町)
 - 第4位 福島 文雄 (高森町)
 - 第5位 笠原 武明 (松川町)

射詰賞

菅沼 昭彦 (豊丘村)

弓道教室のお知らせ

近年生涯スポーツとして、弓道の愛好者が増えていきます。何歳からでも始められ、男女の区別もなく、高齢になっても続けられます。何時からでも始められますので火・金曜日の空いた時間にぜひお越しください。初心者歓迎！高校や大学で弓道に親しんでいたが、今はやっていない方もぜひ仲間になってください！道具もお貸しします！！

対象者 学生・松川町民・松川在勤者 (学生は高校生以上)

日時 5月14日(火)より 毎週火・金曜日 夜7時〜2時間程度 20回にて終了

場所 松川町弓道場 (名子地区)

費用 講習代2,000円 申し込み先 松川町中央公民館

TEL 3612622 FAX 3616620 申込締切 5月13日(月)

第1講座

6月29日(土) 13:00~

~時代の転換期を見つめる~ 流動化する日本政治の行方

■講師 伊藤 惇夫
政治アナリスト

政治アナリストとして活動され、多くのテレビ番組にご出演。30年に亘る永田町生活での経験を基にお話ししていただきます。

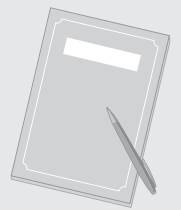
第2講座

8月24日(土) 13:00~

一隅を照らす

■講師 露の団 姫
落語家・僧侶

「一隅を照らす」とは、自分の持ち場で自分の役割を一生懸命頑張ることが社会貢献となるという仏教の教えです。好きなこと、得意なことを活かして自分もまわりもみんな幸せになりましょう。



第3講座

12月7日(土) 13:00~

元NHK「きょうの健康」 キャスターが伝授! ~病気の予防につながる 食事と運動とは?~

■講師 久田 直子
NHK Eテレ「TVシンポジウム」
医療シンポジウム司会

これまでに番組を通して700人以上の医師や医療関係者の方々から得られた知識、また、医療シンポジウムの司会のご経験を基にお話をさせていただきます。

第4講座

2月15日(土) 13:00~

「父として子どもと 関わったこと」 バドミントンを通した 夢の実現を目指して

■講師 奥原 圭永
高校教師

2016年リオデジャネイロオリンピックで日本人選手で初めて女子バドミントンシングルスでのオリンピックメダル獲得をした奥原希望さんの父親。子育ての中で大切にしてきたこと、感じてきたことなどをお話いただきます。

まつかわ大学第14期生

募集!!

- ◆入学金:年間1,500円 (受講登録は松川町民のみ)
- ◆締切:5月31日(金)
- ◆問合せ:中央公民館 36-2622



楽しんでもらえる公民館へ

生涯学習課長 塩倉智文さん

4月の移動で生涯学習課課長に着任された塩倉智文さん。



塩倉さんはこれまで公民館とは利用者として関わることはあったそうですが仕事としては初めて配属されたそうで、内部の仕事についてはこ

れから覚えていきたいとのこと。

これからの目標についてお聞きしたところ文化的な事業を進めていけたら、特に音楽や演劇について力を入れていきたいと話してくれました。

また町民体育館の耐震改修が予定されているので使いやすい施設になるようにしていきたい。その上で新しい物だけでなく今ある物を使って利用者の皆さんに楽しんでもらえる公民館を目指し、その上で

松川で足りない部分は他町村との連携など住み分けも考えていければとお話ししてくれました。

また現在動いていることとしては、「サマーチャレンジ」というイベントで、夏休みの学習補助として漢検や英検、数検などの取得を目指した講座や、体験活動などの子どもからお年寄りまで楽しんでもらえる活動にしたいと考えているそうです。

塩倉さんは普段はえみりあ事務所にいるので、見かけたら気軽に声をかけてほしいと笑顔でおっしゃっていました。

ハイマラン通信



実行委員会では、多くの皆様に大会にご参加いただきました。「第5回南信州まつかわハイマラン大会」の宣伝活動を行っています。

2月28日には、第3回、第4回大会に申し込みをいただいた2,885名の皆様に宛てて第5回大会の募集チラシを封筒詰めし、3月1日に発送して参加を呼び掛けました。

また、3月から6月の募集

期間中に行われる各地の大会に実行委員が出向き、募集チラシを配って、大会開催をPRしていきます。

町内の小中学校に通学、保育園に通園していらっしゃるご家庭には、5月に募集チラシをお配りいたします。町内の皆様も、是非多数ご参加ください。

町全体で大会を盛り上げていただき、よい大会となるようご協力をお願いします。



短歌

奇藤登志子 (本町)

金次郎は働きながら本を読み 今テレビにスマホの操作
由緒ある大鹿歌舞伎村人の熱演にとぶお捨りの数かず
年増せば動作はにぶり気はあせり若さに満ちた昭和が恋し
ナンプレで認知症予防と新聞に暇を見つけて数字を選ぶ
ドローンにて町内写す(空さんぽ)見る目も変わる科学の力

情報

バモス ア グラール エスパニョール
Vamos a hablar Espanoll
スペイン語を話そう!



スペイン語教室

ことばを学ぶ
世界が広がる



講師の二人

コスタリカとのホストタウン交流をきっかけに始まったスペイン語教室。これまで延べ600名以上の方が受講されました!

「コスタリカやスペイン語圏の国に行きたい」「言語が好き」「新しいことを始めたい」など目的は様々。どなたもお気軽にご参加ください。

授業スケジュール等は中央公民館へお問い合わせください!

声

上大島クラブ発表と文化芸能祭

上大島公民館主事 桜井秀樹

3月2日から4日にかけて毎年恒例のクラブ発表と文化芸能祭が行われました。クラブ発表では生花・俳句短歌・書道・写真などクラブ

の皆さんに作品を展示していただき、来場してくれた方々に見ていただきました。3日には文化芸能祭が行われ、様々な人達が出演してくれま



3月3日に行われた芸能祭 大勢の人たちでにぎわった

した。ミニパッションは園児・小学校低学年・高学年と3組発表してくれました。大島保育園の子ども達はかわいらしいダンスをしてくれ、レジェンダ・デ・松川さんは本格的なフラメンコを発表してくれました。律心会館の皆さんには空手の演武で昨年のリベンジをしていただき、そらちゃんとうずき&なつみちゃんは今全国トップクラスのダンスを披露してくれました。前半から見応えのある演目が続きました。休憩中は女性部員が愛情たっぷり入った豚汁をふるまいました。後半に入ってもすばらしい出し物が続きます。わくわくさんにはサイエンスショーを、エムツトさんにはマジックショーを披露していただきました。観客の子どもさん達が食いいる様に夢中になって見ていました。マンサーナクラブの皆さんにはシニアフラメンコを踊っていたいただき、飛び入り参加で保存会の方によるキツネ踊り、村田肇さんによる安来節



女性部の豚汁も好評

(どぜうすくい)を披露していただきました。松川出身のお笑い芸人松尾アトム前派出所さんには何個かネタをやってもらいました。最後は公民館部員による二人羽織をし、私自身も参加させてもらい顔面わさびまみれになりました。多くの方々に参加していただき、楽しい文化芸能祭になりました。飛び入り参加も自由なので来年も皆で盛り上がりましょう！多くのご参加をお待ちしています。



2022年

最近テレビや新聞で目にする「ゲノム編集」。生き物の遺伝子は4種類の塩基と呼ばれる物質で出来ていて、特定のタンパク質などと結合する性質があり、その性質を応用したものが「ゲノム編集」だそうです。収穫量の多い米や腐らないトマト、おとなしい性質のマグロ、人間の遺伝子まで操作できるとか…もし、腐らないトマトなんてあったら、本来のおいしさが分からなくなりそうだし、おとなしいマグロがいたら、大間のマグロ漁師さんが簡単に釣れてつまらなくなりそう。それに人間も、みんな似たような遺伝子になつたら同じような人間がたくさんいることになるのでは？うか。「みんな違ってみんないい」。いろんな人がいて、刺激し合うから面白い世の中なのにな。って私は思います。

様々な分野で、便利な世の中になることはいいと思います。が、便利になればなるほど、失うものは大きいと思います。

中島 李野

公民館報 「まつかわ」 第 666 号 平成31年4月15日 発行所 松川町公民館 責任者 小沢 誠 編集人 公民館編集部 Tel 36-2622 e-mail: c.kouminkan@matsukawa-town.jp 飯田市上郷黒田121 印刷所 龍共印刷(株)

再生紙を使用しています。